



# みとこ

佐野市立三好小学校  
校長室だより 3/19

## 卒業おめでとう

卒業式前日、少しでも気持ちを込めてと別れの言葉を練習した卒業生、校庭全面を使って鬼ごっこをしていた卒業生。「今」に力一杯取り組む姿を見せていました。

式辞の一部を掲載します。

…16名の卒業生の皆さん、在校生と向かい合う姿は凛としていて6年間の小学校生活を終えての自信と誇りが感じられます。

6年前、野上小学校と統合して新生三好小学校最初の入学生でした。保護者の皆様には、小学校に入学してからの6年間、語り尽くせぬ多くの喜びと、数々の心配事やご苦労があったことと思います。

卒業生の皆さんは、最上級生としての自覚をもって常に行動で示していました。1年生と一緒に登った三床山、運動会前の校庭整備、応援合戦、修学旅行、美登見祭、などなど。六年生を送る会で下級生が企画した内容に、卒業生に対する下級生の思いがあふれていました。

卒業生の皆さんが守り、さらに築き上げた三好小学校の伝統は、5年生から1年生が引き継ぎます。有終の美を飾る1年間にするため一生懸命に努力していく姿を見守ってください。

4月から中学校へと進む皆さんに、二つの言葉をおくります。一つめは、「無限の可能性」です。皆さんには、可能性がありません。今まで力を入れてきたことを継続してより上を目指してほしいと願うとともに、一人一人には別の膨らみかけた蕾があることにも気づいてほしいのです。蕾を開かせるのは自分自身です。何色の花が咲くのか、ぜひ、様々なことに積極的に挑戦してください。自分で限界をつくらず、チャレンジしての失敗は、次の大きな飛躍へのスタートです。二つめは、「つながり」です。皆さんのことを何よりも先に考え、時にはぎゅーと抱きしめてくれるだけで心が安らぐ家族。嬉しいときに一緒に喜んでくれる仲間。悲しいときにそっとそばに寄り添ってくれる友達。より良い活動ができるようにと見えないところで支えてくれる多くの方々。たくさんのつながりの中の大切な一人として、皆さんは存在しています。中学校へ進学した後も一人一人への感謝の気持ちを持ち、より強いつながりを築いていってください。

平成最後の三好小卒業生として、無限の可能性を信じ、つながりを大切にして、希望に満ちた未来へと歩んで行くことを期待します。



下級生  
から卒業  
生の1人  
に向けて  
感謝の  
言葉を  
飾ら  
れた。